

2024_0424「眠そうなムササビの母親（動画）」日々の理科 3548号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

ムササビは通常年に2回営巣・出産します。1匹の産む時と2匹産む時がありますが、今回は2匹でした。当然授乳も2匹分で、主として草食動物であるムササビの母親にとっては、栄養摂取も重要な仕事です。ムササビの子は生まれてから3か月も母乳で育ちます。父親も子育て祖手伝う多くの鳥類とちがって、その間母親だけで子育てをします。その苦勞は何大抵ではないでしょう。昼は巣の中で一日中授乳、夜は夜で自身の栄養補給で森を飛び回っているのです。

今朝の北軽井沢は冷たい雨でした。遠隔操作で巣箱口を観察すると、巣箱口に顔を出したムササビの母親が、眠そうに…というよりもほとんど眠りながら雨を眺めていました。「あ～疲れた、休む時間がぜんぜんないわ～・・・」と言っているようでした。

(2024年4月中旬／北軽井沢／遠隔観測)

